

取扱説明書

電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

保管用

○記号の意味は次のとおりです。
●絶対に行わない
●必ず指示に従い
●行ってください。

禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガンリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのあ る所で使わない)	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因) 電線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)
禁止		施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

禁止	高温(35℃以上)、粉じん、強い振動・衝撃のある 場所を使わない。(落下・感電・火災の原因)	器具の外郭が天井内の造管材・ダクトに触れない。 (火災・感電の原因)
	油煙のある場所では使用しない。 (油でソケットが破損しランプ落下の原因)	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電 圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障 となります。(火災・感電の原因)
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使 わない。 (劣化による落下の原因)	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等によ り電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面に は取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所では使わない。 (火災・感電の原因)	調光専用器具以外は調光させない。 (器具が過熱して火災の原因)
禁止	雨水のかかる場所では使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)	

お取り扱い

■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。点灯始動
保証温度は-5℃以上です。周囲温度5℃未満での連続使
用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

お客さまへ

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、
大切に保存し、必要なお役にたててください。

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの
	器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

禁止	おさま yourself で電気工事ではない、電気工事士など の資格が必要です。 (火災・感電の原因)	誤った取扱いをしたときに、傷害または 家庭・家財などの損害に結びつくもの
	ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯 しない。
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)	ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な 力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)
警告		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保 守・点検を行う。

ランプ交換、器具の清掃

ランプ交換

(1) ランプを90°回転させ、ソケットからははずす。
(2) ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。

清掃

○カバーなどプラスチック部分には次のものを
使用しないでください。
・みがき粉やたわし
・シンナーなど揮発性のもの
・熱湯
○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、
やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよ
く絞ってふき取ってください。
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとって
ください。

注意

○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触ら
ない(高温のためやけどの原因)
○ランプはソケットに確実に取付ける
(取付けが不完全な場合落下の原因)
○使用済みのランプは不用意に割らない
(ガラスが飛散してけがの原因)
○ソケットの清掃に洗剤を使用しない
(洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因)

警告

器具・ランプを水洗いしない(火災・感電の原因)

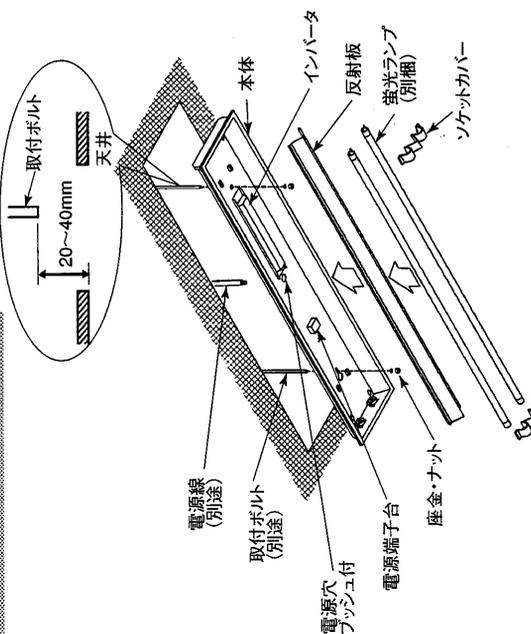
インバータ器具の取扱い

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器
具から離してご使用ください。
■雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。
■送信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑
音が入る場合があります。

異常時の処置

△警告
煙が出たり、変な臭いしたり、破損したりした場合、すぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

各部のなまえと取付けかた



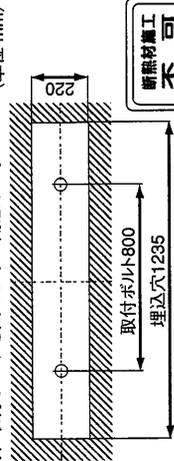
1 取付前の確認

器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

△警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

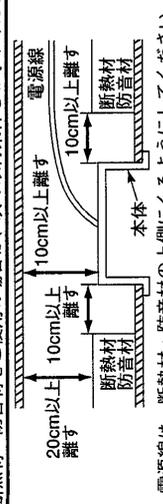
2 天井に埋込穴をあける

埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。



△警告
断熱施工天井に取付けない（火災の原因）

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

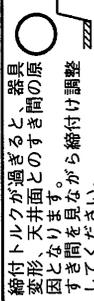


電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

3 器具本体をボルトに取付ける

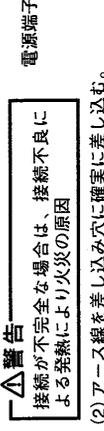
- (1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュに電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。ナットの締付トルクは0.7~1N・mです。

△警告
取付けが不完全な場合落下の原因



4 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。



- △警告**
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因
- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
- △警告**
アース工事は電気設備の技術基準に依り行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）
- <D種（第3種）接地工事が必要です。>
- 電源端子台の容量は20Aです
 - 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

△警告
配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

△警告
電源の接続は適合寸法の電源線を指定長さ内に被覆をむき、1本ずつ選定端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

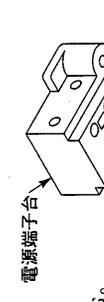
(3) 電源線（アース線）の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

○電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナーストライバを、はすし穴にまっすぐに差し込んでください。



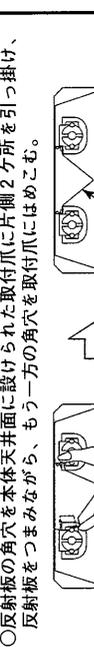
5 反射板を取付ける

明るさ切替 [PTの場合]



△警告
反射板取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により感電・火災の原因）

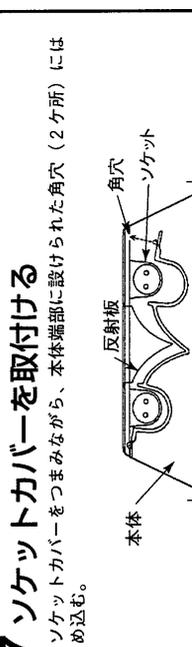
△注意
取付けが不完全な場合落下の原因



6 ランプを確実に取付ける

△注意
取付けが不完全な場合落下の原因

ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。
※「5.反射板を取付ける」参照



7 ソケットカバーを取付ける

ソケットカバーをつまみながら、本体端部に設けられた角穴（2ヶ所）にはめ込む。

8 連続取付けの場合



Nは連結台数を示す
器具単体取付けの場合: 1235mm×220mm
<器具単体の連結方法>
器具の片側端部に連結金具（REB52別売）をねじで器具本体の内部より締め付け、器具を順次取付ける。
なお、終端の器具には連結金具は不要です。

9 オプションの取付け

○オプションを取付ける場合は、本体側面にある角ノックアウトを抜く。
○この器具は各種オプション（別売）を取付け可能で、目的に合ったオプションをカタログご参照の上ご使用ください。

